

令和4年度授業改善推進プラン

清瀬市立芝山小学校 第2学年

	授業における課題や学力調査資料から見えた課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>基礎的な言語事項の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の文字を正しく書くこと <p>読み取る力、書く力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読んだり、書いたりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ミニテストや宿題、書写で点や画の組み立て、字の形に注意して書くよう、繰り返し練習する。 音読や文章を書く活動を多く取り入れ、順序に気を付けて読んだり書いたりさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初に比べ、字形を整えて書けるようになってきた。ただ習得には、個人差が見られる。引き続き、個別指導が必要である。 他教科でも順序の言葉を意識し、自分から使える児童が増えた。
算数	<p>基礎的な計算の確実な定着</p> <p>数学的な考え方の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の題意を理解する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間、基礎計算の練習を継続して行い、たし算・ひき算、かけ算を習熟させる。 何を知りたいのか、分かっていることは何かを問題を読みながら整理し、立式させる。 	<ul style="list-style-type: none"> マス計算を毎時間繰り返し取り組んだことで、定着が見られた。個人差が見られるので、個別指導が必要である。 テープ図を用いたり、キーワードに注目したりしながら、題意をある程度理解できてきたが、まだ十分ではない。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自然の様子に関心を持ち、大切に作る心の育成 友達や家族、周囲の人々とかかわる力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 植物を育てたり、生き物を観察したりする機会をつくり、自然への関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校農園を有効に活用し、様々な気付きや収穫の喜びを得ることができた。 学校で見付けた昆虫を、グループごとで飼育することによって、周囲の自然への関心が高まった。 家族や周囲の方々とかかわることの大切さについて、自分自身の生活の振り返りを通して気付くことができた。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 曲想を感じ取って表現を工夫し、思いに合った表現をするための技能の育成 曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> どのように歌ったり演奏したりしたいか思いをもたせるような言葉かけをする。 親しみやすい楽曲を選択し、意欲をもって活動に取り組ませながら、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付けさせる。 思考判断しながら曲や演奏のよさを見つけさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> どのように演奏したいかという思いをもって、のびのびと歌ったり、楽しそうに演奏したりする様子があった。 音楽会を通して、心を含ませて歌う楽しさや、指揮をよく見て演奏する経験がすることができた。 鑑賞では曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く力に個人差があり、引き続き聴く力をつけるための指導の工夫を模索したい。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な道具の用途や扱いを知り、正しく扱う力の育成 感じたことを元に、自分の思いで表現しようとする力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> はさみ、のり、パス、絵の具など道具や材料を多用する題材を取り入れ、それぞれの特徴やよさを理解して使えるようにする。 思いや考えを共有する時間をとり、自分なりの考えをもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> はさみ・のり・パス・絵の具の他に、カッターの使い方の初期指導を行うことができた。生活経験の差により、道具を使うことに苦手意識がある児童もいるが、繰り返し道具を使う経験を増やし習熟するようしていく。 友達の表現を互いに鑑賞することを通して、個々のよさを認め合うことができた。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動の基礎技能の向上 ルールを守り、チームで仲良く活動する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の運動量が確保できるように活動内容を工夫し、ルールを明確に提示する。その中で走る、投げる、跳ぶなど基礎的な技能を向上させるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ルールを守ることで、安全に、かつ時間的にも運動量を確保することができた。 チームごとに話し合ったり、作戦を立てたりすることで、友達同士の声かけが増え、協力して活動する姿が多く見られるようになった。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする判断力(善悪の判断、自律、自由と責任)の育成 わがままをしないで、生活しようとする判断力(節度、節制)の育成 	<ul style="list-style-type: none"> よいことと悪いことを区別できるように、具体的な場面で取り上げて考えさせる。よいと思うことを進んで行ったときの気持ちを考えさせる。 自分を客観的に見つめ、内省する機会を多くもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 善悪の判断は、できるようになってきた。周りに流されず、正しいことをしようとする意識を、より高めていく必要がある。 何がいけなかったのか、自分で考えさせる機会を十分に設けることで、ある程度気付きが見られた。